

平成31年度第1回 ISO上層委員会報告会

JSA からのお知らせ



2019年4月15日

一般財団法人 日本規格協会
国際標準化戦略ユニット

松本 宏一

1. 2019年 Directives 改訂のポイント

- ◆ TMB コミュニケでの紹介
- ◆ その他の改訂点

2. 最近発行の Broschüre 紹介

2019年 Directives 改訂のポイントについて：

本講演および資料は ISO の各種文書から推定される2019年 Directives 改訂の概略をお伝えするものです。確定情報及び詳細については、2019年5月に ISO から発行される英語版 Directives をご参照下さい。

2019年は、**第1部** と **ISO補足指針** が
改訂予定です。

	2018年	2019年
ISO/IEC専門業務用指針 第1部	第14版 ⇒	第15版
統合版 ISO補足指針	第9版 ⇒	第10版
ISO/IEC専門業務用指針 第2部	第8版 ⇒	継続

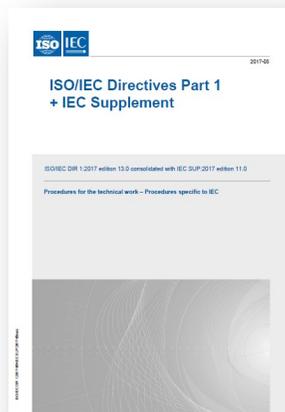
Directives Part 1 全体像

ISO/IEC 専門業務用指針第1部

ISO 補足指針



IEC 補足指針



JTC 1 補足指針



JSA国際標準化ユニットで作成しているDirectives Part 1対訳版は、
ISO/IEC 専門業務用指針第1部及び**ISO 補足指針**の**統合版**です。

第1部と**ISO補足指針**をまとめて、**Part 1**として説明する。

トップニュース：

“Committee secretary” を “Committee manager” に呼称変更

- TMB TF プロジェクトマネジメントからの推奨事項
- IECは、2019年は呼称変更見送り
- 訳語は「委員会マネジャー」
- 役割は「プロジェクト管理手法」に詳述
- TMB決議 20/2019による、即時発効



Directives Part 1 主要改訂点

1. カテゴリー A,B リエゾンの設立手続き変更 (1.17.2)

- リエゾン候補機関の本部の所在国が決定に関与する

2. 議長諮問グループ (CAGs) の構成 (1.13)

- 議長諮問グループへの委任事項を委員会が承認する
- メンバー間での参加機会均等を考慮する

3. MSS 関係の附属書を ISO/IEC 共有化 (Annex SL,SP)

- 附属書 SL (MSSの提案) が附属書 L に
- 附属書 SP (分野固有のMS/MSS) が附属書 M に

4. 附属書 J “TC/SC の業務範囲の作成” (Annex J) 改訂ではない!

- TMBからTC/SCに, 附属書 J を遵守するよう注意喚起

Directives Part 1 主要改訂点

5. まえがきへの追記 (Foreword e))

- 投票中の案件について、会議での公式議論、または公式ルートでの国代表組織の立場の配信は禁止

6. Committee secretary の呼称変更 (紹介済)

7. ツイニング改訂 (随所)

- 途上国と先進国の関係から、被指導国と指導国の関係へ
- 制度としての変更は、2018年6月から実施済
- 附属書 ST ツイニングポリシーを追加
- ツイニングの内容変更に伴う記述変更
- “Vice-Chair” を “Twinned Chair” に変更

Directives Part 1 主要改訂点

8. IWA のメンテナンス (SI.9)

- 業務範囲が合う委員会があれば、そこが「3年見直し」を担当する（なければ、IWA 幹事国が担当する）

9. JWGの役割の明確化 (1.12.6)

- JWGを構成する全ての委員会で「エキスパート募集」を行う
- 関連文書を全ての委員会に配付する

10. 委員会のリーダーシップ、パートナーシップと協力 (1.8.1, 1.9.1)

- 国家間で役職の支援／協力は可能だが、正式役職は1か国
- 幹事国を複数国協力による場合は、他国からの議長を推奨
- 透明性のため、協力関係は委員会に開示

関連注記：TMB業務手順改訂予定 幹事国輪番制（要TMB承認）を含む

Directives Part 1 主要改訂点

11. 附属書 SH (図記号) の更新

- Table SH.1 および Table SH.2 の更新 (TC 145 担当)

12. 附属書 SR (法的声明) の更新 (SR.3)

- 「契約／法律／法定上の要求事項は含めない」の詳述
- 「ISO 規格での法的声明に関するガイダンス」発行済

13. WG事務局の指名 (1.12.1)

- WG Secretary 指名は、所属の国代表組織の確認を要す

TMBコミュニケでの紹介

Formの改訂 (附属書 SJ) URL: www.iso.org/forms

改訂予定 Form

Form 4

Form 6

Form 21

Twinning Request Form (ツイニング申請書) **(ST.5)** 掲載済

Twinning Agreement (ツイニング協定) **(ST.5)** 掲載済

Twinning Collaboration plan (ツイニング協働計画) **(ST.5)** 掲載済

新 Form

Form 8B : Minor Revision の申請 **(2.9.1)**

IWA Proposal form : 国際ワークショップ協定の提案フォーム

Proposal for new standardization area form :

TC/SCの枠組みに入らない新業務も含む

その他の改訂点

JDMT/DMT Recommendations による改訂

■ WG事務局およびコンビーナの能力要件 (SQ.3)

- ITスキルが追記された
- Secretary 要件は, WG にも適用することを明示

■ “may not” (禁止) を “shall not” に修正 (1.12.2)

- Experts not registered **shall not** participate in the work.
- コンビーナは1会議あたり1名のゲストを招待できる旨を追記

■ FDISの回付条件訂正 (過去改訂の対応) (2.1.6)

- 「省略がデフォルト」から「専門的変更なしの時省略」 (shall)

■ ジェンダー平等表現 (随所)

- his → his/her

JDMT/DMT Recommendations による改訂

■ リエゾン代表者の表現（過去改訂の対応）（B.4.2.2）

- observer/delegates → liaison representative

■ 規格原案の言語（過去改訂の対応）（E.5.1）

- 「英語及び仏語」から「デフォルトは英語」に変更

■ その他 軽微な誤記訂正

- NOTE 1 → NOTE (C.4.13.3)
- Directives Part 2:2016 → Directives Part 2 (D.2)
- common to the ISO/IEC Directives
→ common to **all** the ISO/IEC Directives (Foreword)

■ テキストの移動（過去改訂の対応）（Foreword）

- コンセンサスに関する一部記述を ISO Supplement から ISO/IEC Directives へ

■ PAS提案権（3.2.2）

- ISO では、Cリエゾンに PAS 提案権がないことを明示

■ FDIS省略の条件（過去改訂の対応）（表 F.1 脚注）

- DIS で反対票無き時 FDIS 省略可 → 承認要件を満たし専門的変更無き時省略可（may）

■ 表現変更（過去改訂の対応）（SD 表）

- Project deleted → Project cancelled

■ 表現変更：オンライン会議システム変更（SK.5）

- webex meeting → web meeting

2019年版で追加される附属書

- 附属書 L (MSSの提案) (旧 附属書 SL)
- 附属書 M (分野固有のMS/MSS) (旧 附属書 SP)
- 附属書 ST (ツイニングポリシー) (新設)

2019年版で姿を消す附属書

- 附属書 SL (欠番化)
- 附属書 SP (欠番化)

今後の予定：Directives Part 1, 2019年版

5月1日：2019年版発行

ISO ホームページにて公開（英文）



6月上旬：仮和訳版公開

JSA ホームページにて公開

同時に国内意見照会



7月上旬：対訳版公開

JSA ホームページにて公開



ISOホームページ： <https://www.iso.org/directives-and-policies.html>

JSAホームページ： https://www.jsa.or.jp/dev/std_shiryo/

1. 2019年 Directives 改訂のポイント

- ◆ TMBコミュニケでの紹介
- ◆ その他の改訂点

2. 最近発行の Broschüre 紹介

最近の ISO プロシユア動向

(前回ISO上層報告会 (2018-10-30) 以降の新規/改訂)

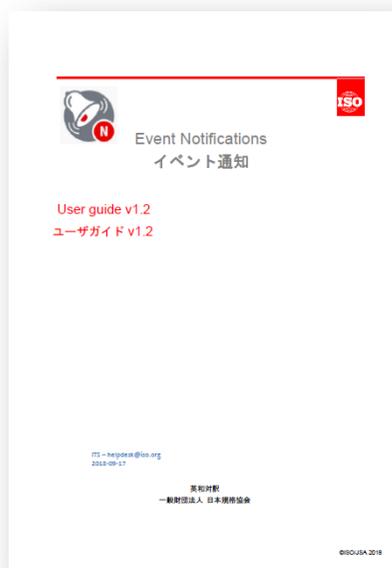
URL : https://www.jsa.or.jp/dev/std_shiryo1/

Home > 規格開発 > 国際標準化支援 > ISO/IECの規定・政策等 > アーカイブ

2019-04-08 現在

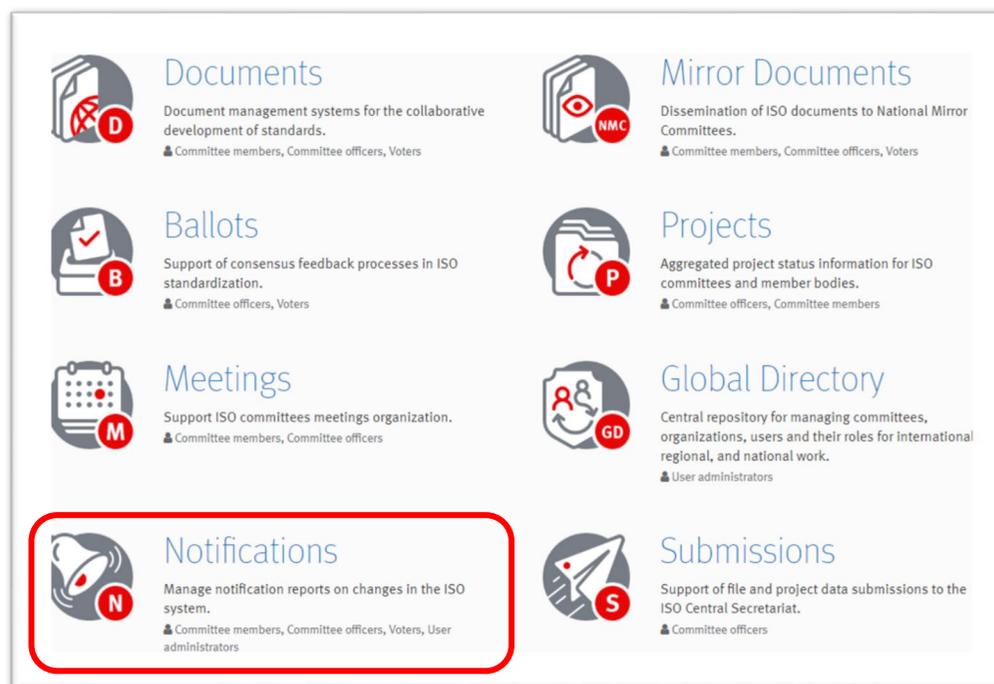
日付	新/改	名称 (内容)		現状
2018/10	新規	3-1	イベント通知ユーザガイド	掲載
2018/12	新規	1-2	ISO規格で国連の持続可能な開発のための目標に貢献する	掲載
2019/02	改訂	4-8	ツイニングガイダンス (2019年)	掲載
2019/03	新規	2-2	ISO規格での法的声明ガイダンス	掲載
2019/03	新規	1-2	効果的なコミュニケーション	掲載
2019/03	改訂 (Ed)	4-6	ISO施行規則	掲載
近日中	削除	3-1	ISO Meetings ユーザガイド集	掲載

イベント通知ユーザガイド



ISO Portal の Notifications のユーザマニュアル

- ISO からの諸通知の受取り方をカスタマイズできる



ISO ブロシュア紹介

ISO 規格で国連の持続可能な開発のための目標に貢献する

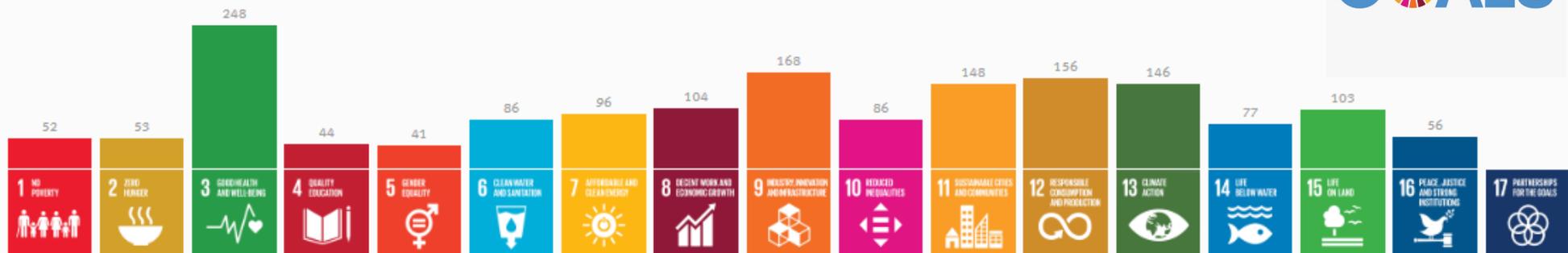


国連の SDGs（Sustainable Development Goals）に
ISO 規格がどのように貢献しているかの説明

注記：2030アジェンダとも呼ばれる2030年までの国際目標。
17のGoalと169のTargetから成る。

Impact at a glance

ISO contributes to all of the SDGs. Here you can see the number of ISO standards that are directly applicable to each Goal.



ISO ブロシュア紹介

ツイニングガイダンス (2019年版)



2018年6月から実施されている
新しいツイニングのガイダンス

➤ Vice-Chair の用語改訂は取り込めてない

他のツイニング関係文書（新制度版発行済）：

- ツイニングでウイニング
- 改訂されたツイニングでの要求事項とプロセス

ツイニングとは：

能力構築を目的とする 2 か国の ISO 会員間の協力協定

指導する側／指導される側の要件

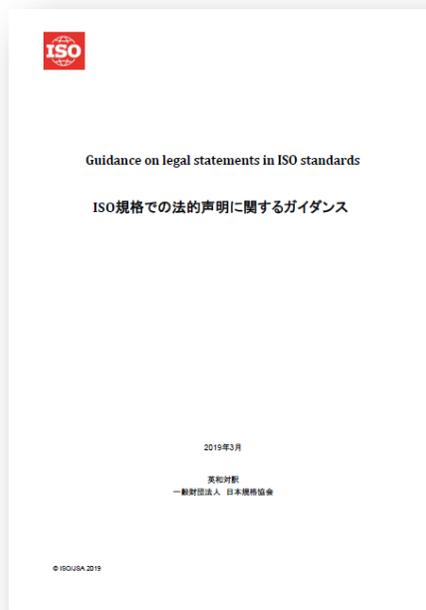
- 幹事国ツイニング：幹事国引受数が 5 以上／未満
- 議長ツイニング：指名を受けている件数が 5 以上／未満
- コンビーナツイニング：指名を受けている件数が 5 以上／未満
- Pメンバーツイニング：Pメンバーである委員会数が 100 以上／未満

注記： 指導される側は、twinned ... と呼ぶ。co-... は使わない。

必要な提出物

- ツイニング協定 (Twining Agreement)
 - 終了日を明示。最長5年間 (延長／更新はできない)
- 協働計画 (Collaboration Plan)
- 年次パフォーマンス評価フォーム (Annual performance assessment form)
 - 自己評価後、TC/SC Pメンバー及び TPM が評価し、TMB 事務局がレビュー

ISO 規格での法的声明に関するガイダンス



ISO 規格と契約／法律／規制の要求事項との関係への言及に関するガイダンス（SR.3 の運用ガイダンス）

各委員会で問題となった statement（声明）を例に挙げ、可否を示している。

ドラフトライターの方は必携!!

効果的なコミュニケーション



コミュニケーションは、

- 規格の理解を深め、
- 業務と規格の信頼性を強化し、
- 人を惹きつける。

そのためには、以下が肝要：

- 目的を明確に
- 聴衆を特定
- 主要メッセージを定義
- コミュニケーションチャネルを選択

ISO ブロシュア紹介

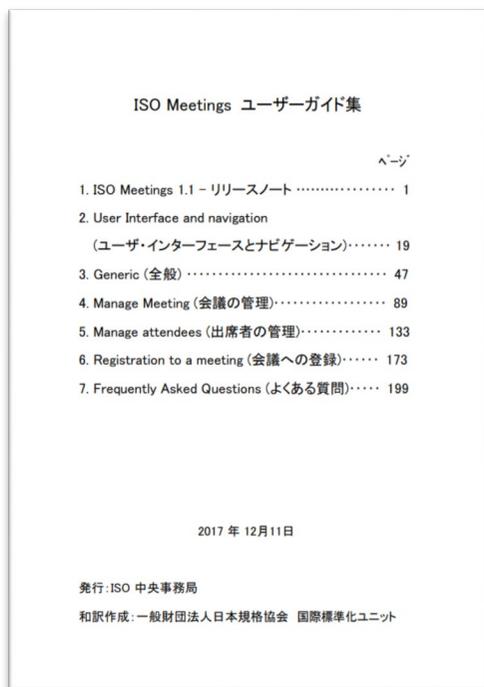
ISO 施行規則



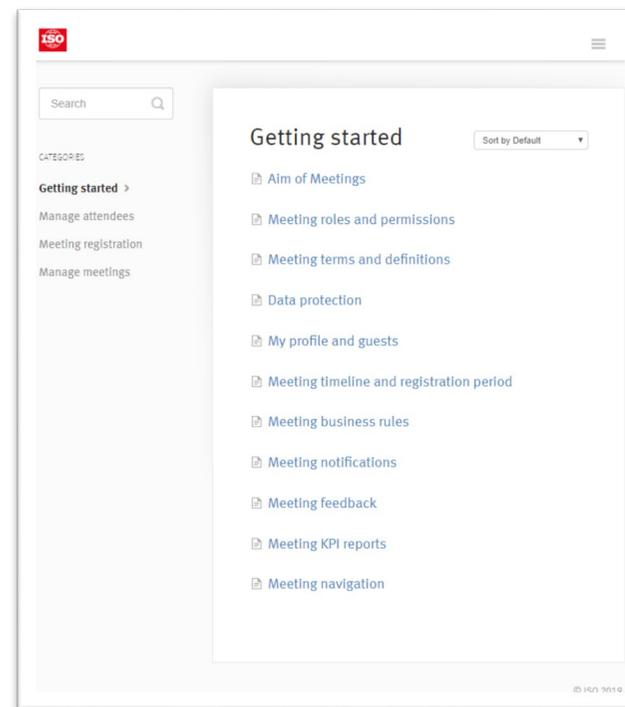
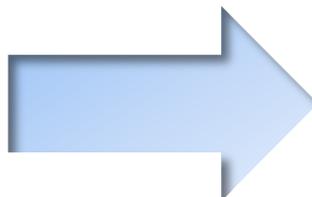
2019年に訂正（Editorial な修正）が行われた。

- 内容は変更なし

ISO Meetings ユーザガイド集 (近日削除)



ナレッジベース化



<https://helpdesk-docs.iso.org/category/52-getting-started>

旧: PDF版ユーザガイドの対訳版

新: ナレッジベースユーザガイド

各ページの更新が頻繁で、対訳版の作成および維持が困難

ご清聴ありがとうございました

<お問合せ先>



一般財団法人 日本規格協会

国際標準化戦略ユニット

TEL : (03)4231-8520

E-mail : kokusai3@jsa.or.jp